

# 安全データシート

作成日 2018年11月 5日  
改訂日 2026年 3月17日

## 1. 製品及び会社情報

製品名： OSカラーSK-FF  
会社名： オバナヤ・セメントックス株式会社  
住所： 三重県いなべ市北勢町東村1339  
電話番号： 0594-72-6488  
FAX番号： 0594-72-6253  
担当部門： 製造部 工場管理課  
整理番号： M3301

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

#### 健康に対する有害性

発がん性： 区分2  
特定標的臓器毒性(単回ばく露)： 区分1  
特定標的臓器毒性(反復ばく露)： 区分1

※ 危険有害性クラスの記載がない場合は、「区分に該当しない」または「分類できない」

### GHSラベル要素



注意喚起語： 危険

危険有害性情報： 発がんのおそれの疑い  
臓器の障害

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

注意書き：

#### 《安全対策》

使用前に安全データシート又は取扱説明書を入手すること。  
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。  
取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。  
保護手袋／保護眼鏡／保護面／保護マスク等を着用すること。  
この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。

#### 《応急措置》

特別な処置が必要である。(ラベル／SDSを医師に見せ判断を得よ。)  
気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。  
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。

#### 《保管》

容器を密閉して涼しく換気の良い場所で、施錠して保管すること。

#### 《廃棄》

内容物や容器を法令に従って適切に廃棄すること。

## 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分：混合物

成分及び含有量：

成分名	含有量	C A S No.	化審法	化管法
メタノール	<1%	67-56-1	2-201	-
エチレングリコール	1~10%	107-21-1	2-230	-
酸化チタン(IV)	0~20%	13463-67-7	1-558	-
ホワイトカーボン(含水非晶質二酸化ケイ素)	1~10%	112926-00-8	1-548	-
ポリオキシドエチレンドデシルエーテル	0.15%	9002-92-0	7-97	407
2,2,4-トリメチルペンタン-1,3-ジオールモノイソブチラート	1~10%	25265-77-4	-	-
イソプロピルアルコール	<1%	67-63-0	2-207	-
酸化第二鉄	0~20%	1309-37-1	1-357	-
フタロシアニンプルー	0~10%	147-14-8	5-3299	-
臭素化フタロシアニングリーン	<1%	14302-13-7	5-3318	-
塩素化フタロシアニングリーン	0~10%	1328-53-6	5-3315	-

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害性成分：

安衛法「表示すべき有害物」該当成分  
エチレングリコール、酸化チタン(IV)、酸化第二鉄、フタロシアニンプルー、臭素化フタロシアニングリーン、塩素化フタロシアニングリーン  
ホワイトカーボン(含水非晶質二酸化ケイ素)(令和8年4月1日施行)  
2,2,4-トリメチルペンタン-1,3-ジオールモノイソブチラート(令和8年4月1日施行)  
安衛法「通知すべき有害物」該当成分  
メタノール、エチレングリコール、酸化チタン(IV)、イソプロピルアルコール、酸化第二鉄、フタロシアニンプルー、臭素化フタロシアニングリーン、塩素化フタロシアニングリーン  
ホワイトカーボン(含水非晶質二酸化ケイ素)(令和8年4月1日施行)  
2,2,4-トリメチルペンタン-1,3-ジオールモノイソブチラート(令和8年4月1日施行)

#### 4. 応急措置

一般的な措置：

気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。  
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。  
直ちに医師に連絡すること。

吸入した場合：

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
直ちに医師の診察／手当てを受けること。

皮膚に付着した場合：

付着物を清浄な乾いた布で素早く拭き取る。直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。  
皮膚を水又はシャワーで洗うこと。  
衣類にかかった場合は、服を脱ぐ前に、直ちに汚染された衣類及び皮膚を多量の水で洗うこと。  
多量の水と石鹼で優しく洗うこと。  
皮膚刺激又は発疹が生じた場合、医師の診察／手当てを受けること。  
外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪いときには医師の診察を受ける。

眼に入った場合：

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
眼の中に全て水が行き届くように洗浄する。  
眼をこすらせてはならない。  
眼の刺激が続く場合は医師の診察／手当てを受けること。

飲み込んだ場合：

医師にばく露物質名、防護のための注意を通知する。  
口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。  
飲み込んだ場合、直ちに医師の診察を受け、医師にその容器又はラベルを見せる。

医師に対する特別な

注意事項：特別な措置が必要である。

#### 5. 火災時の措置

適切な消火剤：

周辺設備に適した消火剤を使用する。  
火災の場合は霧状水、噴流水、泡、耐アルコール泡、粉末、炭酸ガス、乾燥砂を使用する。

使ってはならない消火剤：

情報なし

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、  
保護具及び緊急時措置： 回収が終わるまで十分な換気を行なう。  
換気不十分な場所で漏洩を処理するときは自給式呼吸保護具を着用する。  
適切な保護具を着用する。  
こぼれた場所はすべりやすいため注意する。  
着火源を取除くとともに換気を行なう。  
風上から作業し、風下の人を退避させる。  
安全に対処できる場合は漏洩を止める。
- 環境に対する注意事項： 漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。
- 封じ込め及び浄化の  
方法及び機材： 不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。  
多量に流出した場合、盛土で囲ってのち処理する。
- 二次災害の防止策： 漏出物を回収すること。  
汚染箇所を洗剤、水で洗い流す。  
回収物の廃棄方法については、専門家の指示を求める。  
安全に対処できるならば漏洩を止めること。  
排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い上の注意： 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないようにする。(取扱者のばく露防止)  
皮膚に触れないようにする。  
眼に入らないようにする。  
吸入や接触により皮膚や眼に刺激や炎症を起こすおそれがある。  
使用前に取扱説明書を入手すること。  
全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。  
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。  
保護手袋/保護眼鏡/顔面保護具を着用すること。  
取扱い後は手、汚染箇所をよく洗うこと。  
取扱中は飲食、喫煙してはならない。
- 衛生対策： 眼、皮膚、衣類に付けないこと。  
妊娠中及び授乳期中は接触を避けること。  
取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。  
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。  
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。  
休憩、終業時は手を洗い、うがいをする。
- 保管上の注意： 涼しいところに置くこと。  
国際/国/地方の規則に従って保管すること。施錠して保管すること。  
日光から遮断し、50℃以上の温度にばく露しないこと。  
飲食物、動物用飼料から離して保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

- 管理濃度： (メタノール)  
作業環境評価基準(1995)  $\leq 200\text{ppm}$   
(エチレングリコール)  
濃度基準値(2024) TWA :  $10\text{ppm}$   
STEL :  $50\text{ppm}$   
(イソプロピルアルコール)  
作業環境評価基準(2004)  $\leq 200\text{ppm}$
- 許容濃度： (メタノール)  
日本産衛学会(1963)  $200\text{ppm}$ ;  $260\text{mg}/\text{m}^3$   
(酸化チタン(IV))  
日本産衛学会(2022)  $1.5\text{mg}/\text{m}^3$  (吸入性粉塵);  $2\text{mg}/\text{m}^3$  (総粉塵)  
(イソプロピルアルコール)  
日本産衛学会(1987) (最大許容濃度)  $400\text{ppm}$ ;  $980\text{mg}/\text{m}^3$

(酸化第二鉄)  
 日本産衛学会 (第2種粉塵) (吸入性粉塵)  $1 \text{ mg/m}^3$ ; (総粉塵)  $4 \text{ mg/m}^3$   
 (メタノール)  
 ACGIH (2009) TWA : 200ppm  
 STEL : 250ppm (頭痛; 眼損傷; めまい; 吐き気)  
 (エチレングリコール)  
 ACGIH (2017) TWA : 25ppm (V)  
 STEL : 50ppm (V),  $10 \text{ mg/m}^3$  (I, H) (上気道刺激)  
 (酸化チタン(IV))  
 ACGIH (2021) TWA :  $2.5 \text{ mg/m}^3$  (R) (下気道刺激; じん肺症)  
 (イソプロピルアルコール)  
 ACGIH (2017) TWA : 200ppm  
 STEL : 400ppm (眼及び上気道刺激; 中枢神経系障害)  
 (酸化第二鉄)  
 ACGIH (2006) TWA :  $5 \text{ mg/m}^3$  (R) (じん肺症)  
 (メタノール)  
 皮膚吸収

特記事項 :

ばく露防止

設備対策 : 適切な換気のある場所で取扱う。  
 手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

呼吸器の保護具 : 換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。  
 手の保護具 : 保護手袋を着用する。  
 眼の保護具 : 保護眼鏡/顔面保護具を着用する。  
 皮膚及び身体の保護具 : 保護衣を着用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 粘稠液体  
 色 : 各色  
 臭い : 特有臭  
 融点/凝固点 : データなし  
 爆発下限界及び  
 爆発上限界/可燃限界 : データなし  
 引火点 : データなし  
 自然発火点 : 適用外  
 分解温度 : データなし  
 pH : 弱アルカリ性  
 溶解度 : 水に対する溶解度 : 混和する  
 n-オクタノール/  
 水分配係数(log 値) : データなし  
 蒸気圧 : データなし  
 密度及び/又は相対密度 :  $1.1-1.3 \text{ g/cm}^3$   
 粒子特性 : 適用外  
 初留点/沸点 :  $100^\circ\text{C}$

## 10. 安定性及び反応性

反応性 : データなし  
 化学的安定性 : 通常の保管条件/取扱い条件において安定である。  
 危険有害反応可能性 : データなし  
 避けるべき条件 : データなし  
 混触危険物質 : データなし  
 危険有害な分解生成物 : データなし

## 1 1. 有害性情報

急性毒性 経口：

[成分情報を用い加算式を適用した分類根拠]

区分4に分類される成分

メタノール、ポリオキシエチレンドデシルエーテル

$$(100/ATE_{mix}) = (\text{区分1に分類される成分の含有量合計}/\text{区分1のATE}) + (\text{区分2に分類される成分の含有量合計}/\text{区分2のATE}) + (\text{区分3に分類される成分の含有量合計}/\text{区分3のATE}) + (\text{区分4に分類される成分の含有量合計}/\text{区分4のATE})$$

$$(100/ATE_{mix}) = (\text{区分1に分類される成分の含有量合計}/(0.5 \text{ mg/kg-bw})) + (\text{区分2に分類される成分の含有量合計}/(5 \text{ mg/kg-bw})) + (\text{区分3に分類される成分の含有量合計}/(100 \text{ mg/kg-bw})) + (\text{区分4に分類される成分の含有量合計}/(500 \text{ mg/kg-bw}))$$

300 &lt; 区分4 ≤ 2000 の範囲を超えるため、区分に該当しない。

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(メタノール)

human LD50 = ca. 1400 mg/kg (DFGOT vol. 16, 2001)

(エチレングリコール)

rat LD50 = 6140 mg/kg (PATTY 6th, 2012)

(酸化チタン(IV))

rat LD50 &gt; 2000 mg/kg (SIDS, 2015)

(ホワイトカーボン(含水非晶質二酸化ケイ素))

rat LD50 &gt; 5000 mg/kg (被験物質: 沈降シリカ) (SIDS, 2006)

(ポリオキシエチレンドデシルエーテル)

rat LD50 = 1000 mg/kg (REACH 登録情報 Accessed May, 2021)

(2, 2, 4-トリメチルペンタン-1, 3-ジオールモノイソブチラート)

rat LD50 &gt; 3200 mg/kg (SIDS, 2002); 6517 mg/kg (SIDS, 2002; PATTY 6th, 2012)

(イソプロピルアルコール)

rat LD50 = 4384 mg/kg (EHC 103, 1990)

(フタロシアニンブルー)

rat LD50 &gt; 10000 mg/kg (SIDS, 2002)

(塩素化フタロシアニングリーン)

rat LD50 &gt; 2000 mg/kg (厚労省既存化学物質毒性DB, Accessed Sep. 2016; SIDS, 2010)

(酸化第二鉄)

rat LD50 &gt; 10000 mg/kg (HSDB, Access on July 2019)

急性毒性 経皮：

[成分情報を用い加算式を適用した分類根拠]

急性毒性(経皮)の区分を有する成分を含まないため、区分に該当しない/分類できない。

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(メタノール)

rabbit LD50 = 15800 mg/kg (DFGOT vol. 16, 2001)

(エチレングリコール)

rat LD50 = 2800 mg/kg (ACGIH 7th, 2001)

(酸化チタン(IV))

hamster LD50 &gt; 10000 mg/kg (HSDB, Access on May 2016)

(ホワイトカーボン(含水非晶質二酸化ケイ素))

rabbit LD50 &gt; 2000 mg/kg (被験物質: シリカゲル(Syloid 244)) (SIDS, 2006)

(ポリオキシエチレンドデシルエーテル)

rat LD50 &gt; 2000 mg/kg (OECD TG 402, GLP) (REACH 登録情報, Accessed May, 2021)

(2, 2, 4-トリメチルペンタン-1, 3-ジオールモノイソブチラート)

rabbit LD50 &gt; 15200 mg/kg (SIDS, 2002; PATTY 6th, 2012) et al.

(イソプロピルアルコール)

rabbit LD50 = 12870 mg/kg (EHC 103, 1990)

(シリカ(結晶質、非晶質を包含した二酸化ケイ素))

rabbit LD50 &gt; 2000 mg/kg, &gt; 5000 mg/kg (ECETOC JACC, 2006; SIDS, 2006)

急性毒性 吸入：

[成分情報を用い加算式を適用した分類根拠]

区分4に分類される成分

エチレングリコール

$(100/ATE_{mix}) = (\text{区分1に分類される成分の含有量合計}/\text{区分1のATE}) + (\text{区分2に分類される成分の含有量合計}/\text{区分2のATE}) + (\text{区分3に分類される成分の含有量合計}/\text{区分3のATE}) + (\text{区分4に分類される成分の含有量合計}/\text{区分4のATE})$

$(100/ATE_{mix}) = (\text{区分1に分類される成分の含有量合計}/(0.05 \text{ mg/L})) + (\text{区分2に分類される成分の含有量合計}/(0.5 \text{ mg/L})) + (\text{区分3に分類される成分の含有量合計}/(3 \text{ mg/L})) + (\text{区分4に分類される成分の含有量合計}/(11 \text{ mg/L}))$

10.0 < 区分4 ≤ 20.0 の範囲を超えるため、区分に該当しない。

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(メタノール)

vapor: rat LC50 > 31500ppm/4hr (DFGOT vol. 6, 2001)

(エチレングリコール)

mist: rat LC50 = 2.7 mg/L/4hr (PATTY 6th, 2012)

(酸化チタン(IV))

dust: rat LC50 > 5.09 mg/L (SIDS, 2015)

(2, 2, 4-トリメチルペンタン-1, 3-ジオールモノイソブチラート)

mist: rat LC50 > 5.33 mg/L/4hr (換算値) (SIDS, 2002; PATTY 6th, 2012)

(イソプロピルアルコール)

vapor: rat LC50 = 68.5ppm/4hr (EPA Pesticides, 1995)

(酸化第二鉄)

dust: rat no death at 5.05 mg/L (REACH 登録情報, Accessed Aug. 2019)

労働基準法：疾病化学物質

メタノール

皮膚腐食性／刺激性： [成分情報を用い加算方式を適用した分類根拠]

皮膚区分2に分類される成分

エチレングリコール

(10 × 皮膚区分1) + 皮膚区分2 < 10% であるため、区分に該当しない。

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(エチレングリコール)

区分2 (SIDS, 2009)

(酸化第二鉄)

ヒト 中等度の刺激性 (ICSC(J), 2004 et al)

眼に対する重篤な

損傷性／眼刺激性： [成分情報を用い加算方式を適用した分類根拠]

眼区分2に分類される成分

メタノール； イソプロピルアルコール

眼区分2Bに分類される成分

2, 2, 4-トリメチルペンタン-1, 3-ジオールモノイソブチラート； エチレングリコール； ホワイトカーボン(含水非晶質二酸化ケイ素)

10 × (皮膚区分1 + 眼区分1) + 眼区分2 < 10% であるため、区分に該当しない。

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(メタノール)

ラビット 区分2: Draize test (EHC 196, 1997)

(エチレングリコール)

ラビット 軽微な結膜刺激 (CICAD 45, 2002)

(ホワイトカーボン(含水非晶質二酸化ケイ素))

ラビット 回復性の軽度の結膜刺激 (SIDS, 2006)

(2, 2, 4-トリメチルペンタン-1, 3-ジオールモノイソブチラート)

ラビット 軽度から中等度の刺激性 (SIDS, 2002; PATTY 6th, 2012);

軽度の刺激性 (ECHA 登録情報, Accessed Dec. 2017)

(イソプロピルアルコール)

ラビット (PATTY 6th, 2012 et al)

(酸化第二鉄)

ヒト 腐食性 (IUCLID, 2000)

呼吸器感作性：

[成分情報を用いた分類根拠]

呼吸器感作性を有する成分を含まないため、区分に該当しない／分類できない。

皮膚感作性：	[成分情報を用いた分類根拠] 皮膚感作性を有する成分を含まないため、区分に該当しない／分類できない。
生殖細胞変異原性：	[成分情報を用いた分類根拠] 生殖細胞変異原性を有する成分を含まないため、区分に該当しない／分類できない。
発がん性：	[製品] 区分2, 発がんのおそれの疑い [成分情報を用いた分類根拠] 区分2に分類される成分 酸化チタン(IV) 区分2 ≥ 1%であるため、区分2に分類した。 [成分データ] [日本公表根拠データ] (酸化チタン(IV)) Cat. 2; IARC Gr. 2B (IARC 93, 2010et al.) (シリカ(結晶質, 非晶質を包含した二酸化ケイ素)) Cat. 1A; (ECETOC JACC No. 51, 2006) [IARC] (酸化チタン(IV)) Group 2B: ヒトに対して発がん性があるかもしれない (イソプロピルアルコール) Group 3: ヒトに対する発がん性については分類できない (酸化第二鉄) Group 3: ヒトに対する発がん性については分類できない [ACGIH] (エチレングリコール) A4 (2017): ヒト発がん性因子として分類できない (酸化チタン(IV)) A3 (as Finescale particles) (2021): 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明 (イソプロピルアルコール) A4 (2001): ヒト発がん性因子として分類できない (酸化第二鉄) A4 (2006): ヒト発がん性因子として分類できない [日本産衛学会] (酸化チタン(IV)) 第2群B: ヒトに対しておそらく発がん性があると判断できる物質
生殖毒性：	[生殖毒性：成分データを用いた分類根拠] 区分1Bに分類される成分 メタノール 区分2に分類される成分 イソプロピルアルコール 生殖毒性を有する成分を分類基準以上含有しないため、区分に該当しない。 [授乳に対する又は授乳を介した影響(追加区分)：成分データを用いた分類根拠] 授乳影響を有する成分を含まないため、区分に該当しない／分類できない。 [成分データ] [日本公表根拠データ] (メタノール) Cat. 1B; mouse: PATTY 5th, 2001 (イソプロピルアルコール) Cat. 2; PATTY 6th, 2012
催奇形性：	データなし
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)：	[製品] 区分1, 臓器の障害 [成分情報を用いた分類根拠] 区分1に分類される成分 酸化第二鉄; メタノール; エチレングリコール; イソプロピルアルコール

区分3 (気道刺激性)に分類される成分

ホワイトカーボン(含水非晶質二酸化ケイ素); エチレングリコール; イソプロピルアルコール

区分3 (麻酔作用)に分類される成分;

ポリオキシエチレンドデシルエーテル; メタノール; エチレングリコール

区分1  $\geq$ 10%であるため、区分1に分類した。

[成分データ]

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(エチレングリコール)

血液系、中枢神経系、腎臓 (NITE 初期リスク評価書, 2007; SIDS, 2009)

(酸化第二鉄)

呼吸器 (ACGIH 7th, 2006; HSDB, Accessed July, 2019)

[区分3 (気道刺激性)]

[日本公表根拠データ]

(エチレングリコール)

気道刺激性 (NITE 初期リスク評価書, 2007; ACGIH 7th, 2001)

(ホワイトカーボン(含水非晶質二酸化ケイ素))

気道刺激性 (SIDS, 2006)

(イソプロピルアルコール)

気道刺激性 (環境省リスク評価第6巻、2005)

[区分3 (麻酔作用)]

[日本公表根拠データ]

(メタノール)

麻酔作用 (PATTY 5th, 2001)

(エチレングリコール)

麻酔作用 (NITE 初期リスク評価書, 2007; ACGIH 7th, 2001)

(ポリオキシエチレンドデシルエーテル)

麻酔作用 (REACH 登録情報 Accessed May, 2021)

特定標的臓器毒性

(反復ばく露): [製品]

区分1, 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

[成分情報を用いた分類根拠]

区分1に分類される成分

酸化第二鉄; メタノール; 酸化チタン(IV); イソプロピルアルコール

区分2に分類される成分

イソプロピルアルコール

区分1  $\geq$ 10%であるため、区分1に分類した。

[成分データ]

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(酸化チタン(IV))

呼吸器 (SIDS, 2015)

(酸化第二鉄)

呼吸器 (ACGIH 7th, 2006; DFGOT vol. 2, 1991)

(メタノール)

中枢神経系、視覚器 (ACGIH 7th, 2001)

(イソプロピルアルコール)

血液系 (EHC 103, 1990)

[区分2]

(イソプロピルアルコール)

呼吸器、肝臓、脾臓 (EHC 103, 1990)

誤えん有害性:

[成分情報を用いた分類根拠]

誤えん有害性を有する成分を含まないため、区分に該当しない/分類できない。

## 12. 環境影響情報

水生環境有害性：

[成分情報を用い加算法を適用した分類根拠 短期(急性)]

区分1に分類される成分、及び毒性乗率M

ポリオキシエチレンドデシルエーテル(M=1)

区分3に分類される成分

2,2,4-トリメチルペンタン-1,3-ジオールモノイソブチラート

M×区分1&lt;25%であるため、区分に該当しない。

[成分情報を用い加算法を適用した分類根拠 長期(慢性)]

区分1に分類される成分、及び毒性乗率M

ポリオキシエチレンドデシルエーテル(M=1)

区分4に分類される成分

酸化チタン(IV)

区分1、区分2、区分3、または区分4のいずれにも分類されないため、区分に該当しない。

[成分データ]

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

(メタノール)

甲殻類(ブラインシュリンプ) LC50=900.73 mg/L/24hr (EHC 196, 1998)

(エチレングリコール)

魚類(ヒメダカ) LC50&gt;100 mg/L/96hr (環境省, 2001)

(酸化チタン(IV))

甲殻類(オオミジンコ) EL50&gt;100 mg/L/48hr (SIDS, 2015)

(2,2,4-トリメチルペンタン-1,3-ジオールモノイソブチラート)

藻類(*Selenastrum capricornutum*) EC50(面積法)=18.4 mg/L/72hr (OECD SIDS, 1994)

(イソプロピルアルコール)

魚類(メダカ) LC50&gt;100 mg/L/96hr (環境庁生態影響試験, 1997)

(塩素化フタロシアニングリーン)

甲殻類(オオミジンコ) EC50=153.6 mg/L/48hr,

魚類(ニジマス) LC50=355.6 mg/L/96hr (SIDS, 2010)

(ホワイトカーボン(含水非晶質二酸化ケイ素))

甲殻類(オオミジンコ) EC50&gt;10000 mg/L (SIDS, 2006)

魚類(ゼブラフィッシュ) LC50=10000 mg/L (SIDS, 2006)

(ポリオキシエチレンドデシルエーテル)

藻類(デスマデスマス属) ErC50=0.237 mg/L (Bull. Environ. Contam. Toxicol., 2006, 76:218-225)

水生環境有害性 長期(慢性)

[日本公表根拠データ]

(エチレングリコール)

甲殻類(ニセネコゼミジンコ) MATC=4.2 mg/L/7days (環境省リスク評価第3巻, 2004)

(酸化チタン(IV))

区分4(水に不溶) (ICSC, 2002)

(2,2,4-トリメチルペンタン-1,3-ジオールモノイソブチラート)

藻類(*Selenastrum capricornutum*) NOEC(面積法)=3.28 mg/L/72hr (OECD SIDS, 1994)

(イソプロピルアルコール)

甲殻類(オオミジンコ) NOEC&gt;100 mg/L/21days (環境庁生態影響試験, 1997)

(塩素化フタロシアニングリーン)

甲殻類(オオミジンコ) NOEC≥1 mg/L/21days (SIDS, 2010)

(ポリオキシエチレンドデシルエーテル)

藻類(デスマデスマス属) NOEC=0.07383 mg/L/72hr

(Bull. Environ. Contam. Toxicol., 2006, 76:218-225)

水溶解度：

(メタノール)

100g/100ml (PHYSROP DB, 2009)

(エチレングリコール)

100g/100ml (PHYSROP DB, 2005)

(酸化チタン(IV))

溶けない (ICSC, 2002)

(2, 2, 4-トリメチルペンタン-1, 3-ジオールモノイソブチラート)  
 2 g/100ml (ICSC, 2003)  
 (イソプロピルアルコール)  
 難水溶性ではない (In water, infinitely soluble at 25 °C (HSDB, 2013))  
 (酸化第二鉄)  
 溶けない (ICSC, 2004)  
 (フタロシアニンブルー)  
 溶けない (ICSC, 2006)

残留性・分解性 : [成分データ]  
 (エチレングリコール)  
 急速分解性あり (BOD 分解度=90%/14days(既存点検, 1988))  
 (2, 2, 4-トリメチルペンタン-1, 3-ジオールモノイソブチラート)  
 急速分解性あり (BIOWIN)  
 (イソプロピルアルコール)  
 急速分解性あり (BOD による分解度:86%(既存点検, 1993))  
 (ポリオキシエチレンドデシルエーテル)  
 急速分解性なし (BOD による分解度:38%(既存点検, 1982))

生体蓄積性 : [成分データ]  
 (メタノール)  
 log Pow=-0.74 (ICSC, 2018)  
 (エチレングリコール)  
 log Pow=-1.36 (ICSC, 2018)  
 (2, 2, 4-トリメチルペンタン-1, 3-ジオールモノイソブチラート)  
 log Pow=3 (SRC PHYSPROP DB, 2017)  
 (イソプロピルアルコール)  
 log Pow=0.05 (ICSC, 2020)  
 (フタロシアニンブルー)  
 log Pow=6.6 (calc.) (ICSC, 2006)

### 1 3. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法 : 環境への放出を避けること。  
 内容物／容器を地方／国の規則に従って廃棄すること。  
 承認された廃棄物集積場で処理する。  
 環境汚染を防止するために適切な容器等を使用する。

### 1 4. 輸送上の注意

注意事項 : 容器の輸送及び運搬は、常にしっかり固定した状態で行い、輸送中に互いに衝突して破損することのないようにあらかじめ対策をする。  
 直射日光、雨にばく露されないように運搬する。

国連番号、または ID 番号 : 該当しない

環境有害性

海洋汚染物質 : 該当しない

MARPOL 73/78 条約附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質

有害液体物質 (Y 類)  
 2, 2, 4-トリメチルペンタン-1, 3-ジオールモノイソブチラート; メタノール  
 有害液体物質 (Z 類)  
 イソプロピルアルコール; エチレングリコール; 酸化チタン(IV)  
 有害でない物質 (OS 類)  
 ホワイトカーボン(含水非晶質二酸化ケイ素)

国内規制がある場合の

規制情報 : 航空安全法に該当しない

航空法に該当しない

### 1 5. 適用法令

労働安全衛生法 : 粉じん障害防止規則(令 19 号)  
 酸化チタン(IV); ホワイトカーボン(含水非晶質二酸化ケイ素)

## 名称等を表示すべき危険物及び有害物

エチレングリコール；酸化チタン(IV)；酸化第二鉄；フタロシアニンブルー；  
臭素化フタロシアニングリーン；塩素化フタロシアニングリーン；ホワイトカー  
ボン(含水非晶質二酸化ケイ素)(令和8年4月1日施行)；2,2,4-トリメチルペン  
タン-1,3-ジオールモノイソブチラート(令和8年4月1日施行)

## 名称等を通知すべき危険物及び有害物

メタノール；エチレングリコール；酸化チタン(IV)；イソプロピルアルコール；  
酸化第二鉄；フタロシアニンブルー；臭素化フタロシアニングリーン；塩素化フ  
タロシアニングリーン；ホワイトカーボン(含水非晶質二酸化ケイ素)(令和8年4  
月1日施行)；2,2,4-トリメチルペンタン-1,3-ジオールモノイソブチラート(令  
和8年4月1日施行)

消防法：

該当しない

化審法：

優先評価化学物質

イソプロピルアルコール；エチレングリコール；ポリオキシエチレンドデシルエ  
ーテル

じん肺法：

ホワイトカーボン(含水非晶質二酸化ケイ素)；酸化チタン(IV)

大気汚染防止法：

揮発性有機化合物(VOC) 法第2条第4項

メタノール；エチレングリコール；イソプロピルアルコール

## 有害大気汚染物質

フタロシアニンブルー；臭素化フタロシアニングリーン；塩素化フタロシアニン  
グリーン

特定物質 政令第10条第1号から28号

メタノール

水質汚濁防止法：

指定物質

酸化第二鉄；フタロシアニンブルー；臭素化フタロシアニングリーン；塩素化フ  
タロシアニングリーン

適用法規情報：

この物質に関する貴国又は地方の規制に関する調査は貴社の責任で処理願います。

## 16. その他情報

本データシートは作成時又は改訂時において、製品及びその組成に関する最新の情報（危険有害性情報・取扱い情報）を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行ない改訂いたします。

また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行なってください。